

公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO) の東日本大震災被災者支援

中東カタルとの協力により、三陸地方の漁業支援を開始

宮城県気仙沼市にて、いけすの導入と漁師の販促力強化による水産業の復興を目指す

1990年代から中東各国の支援を行う国際協力 NGO「公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)」(本部:京都市中京区、理事長:小野 了代)は、このたびカタル国の基金「カタルフレンド基金(以下 QFF)」の助成を受け、いけすの導入と漁師の販売力強化により、津波の被害が甚大だった三陸地方の水産業を再活性化し、地域の経済復興を目指す新たな支援を開始します。

本事業では、宮城県気仙沼市唐桑町(からくわちょう)にいけす施設を建設、地元の漁師から活魚を買い取り一時保管することで、流通コストを抑えて出荷できるよう支援します。また、震災発生後、避難所や仮設住宅での炊き出し、被災地の新名産品づくりプロジェクト等で協働してきた有名シェフや企業等の協力を得て、地元の食文化を生かした新しい水産加工品を開発し、都市部への直販をサポートします。

震災前の唐桑町では約8割の世帯が水産業に携わっていましたが、津波により甚大な被害を受けました。震災による漁獲道具の流出やトラウマが原因で漁業への意欲を失っている漁師が多く、人口流出と高齢化の加速に伴い、漁師の海離れや地域の漁業文化の衰退が懸念されています。NICCO は、本事業を通じて、地元漁師の収入向上、雇用機会の創出、水産物取引高の向上、そして長期的には町と周辺地域の活性化を目指します。

NICCO は、1991年の湾岸戦争以来、パレスチナ、ヨルダン等の中東各国にて人道支援、開発支援に力を注いできました。長年の活動を通じて培われた信頼や経験、中東への理解を生かし、このたびのカタル国とのパートナーシップが実現しました。当会は、今後も東北と中東を結び付けながら、被災地の経済復興を支援していきます。

本事業に関する取材・報道のご検討をお願いいたしご案内いたします。

生簀の導入と漁師の販促力強化を通じた三陸地域漁業の活性化事業

■事業実施	公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)
■資金援助	カタルフレンド基金(QFF)
■事業概要	地元漁師を中心とした住民組織による生簀施設の活用、中間コストを最小限にする流通経路の開拓により、漁業従事者の収入向上を図り、地域経済の活性化を目指す。
■活動場所	宮城県気仙沼市唐桑町
■施設開設日	2013年冬(予定)
■受益者数	330人、746漁業従事世帯

このリリースに関するお問い合わせ先

公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)

東京事務所 TEL: 03-3221-5721 FAX: 03-5213-4875

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-19 ツボヤビル 4F 2号室

京都本部 TEL: 075-241-0681 FAX: 075-241-0682

E-mail: info@kyoto-nicco.org

URL: http://www.kyoto-nicco.org

《担当:佐藤》

《担当:吉川、家田》



■ 公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)の概要



内閣府認定公益社団法人、特定公益増進法人【寄付金控除】、国連特別協議資格団体

設立:1979年12月、代表者:理事長 小野 了代

1979年の設立以来、途上国の人々の経済的・精神的な自立を図るため、環境保全型農業に基づく農村開発、職業訓練、緊急災害支援等の分野でアジア、中東、アフリカの各国で活動を展開。2011年に発生した東日本大震災では、岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市、名取市を中心に震災直後から支援活動を続け、現在は漁業などの経済復興支援、心理社会的ケア、子どもの夢応援団プロジェクト、学生・企業ボランティア派遣等を実施しています。



■ カタールフレンド基金とは

カタールフレンド基金は、2012年1月に設立された、東日本大震災の被災地復興を支援するカタール国の基金です。カタール国の元首のシェイク・ハマド・ビン・ハリーファ・アール・サーニ首長殿下が設立し、ユセフ・モハメド・ビラール駐日カタール国特命全権大使が議長を務め、親善大使には俳優の別所哲也さんが就任しています。復興が本格化する2012年1月から2014年12月の約3年間にわたり、「子どもたちの教育」、「健康」、「水産業」の3分野を支援するプロジェクトを対象に、総額で約80億円の活動資金の助成を行う予定です。東日本大震災の復興に向けた歩みを、被災地と共に手を携えながら進めていく友でありたい、というカタール国の願いと意志が込められています。今後のカタールフレンド基金の活動については、公式サイト（<http://www.qatarfriendshipfund.org>）を通じて随時発表します。